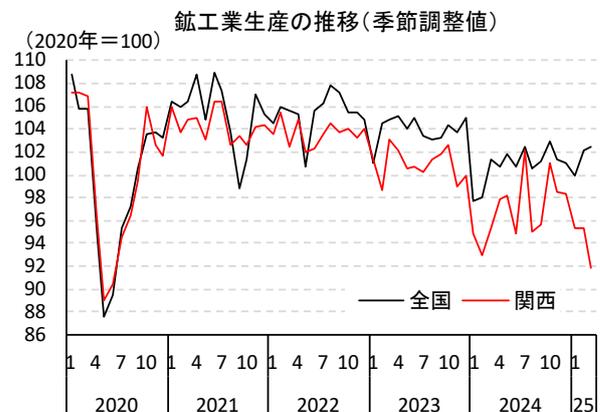
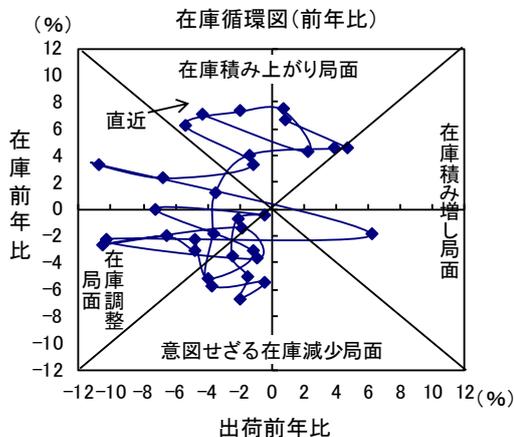
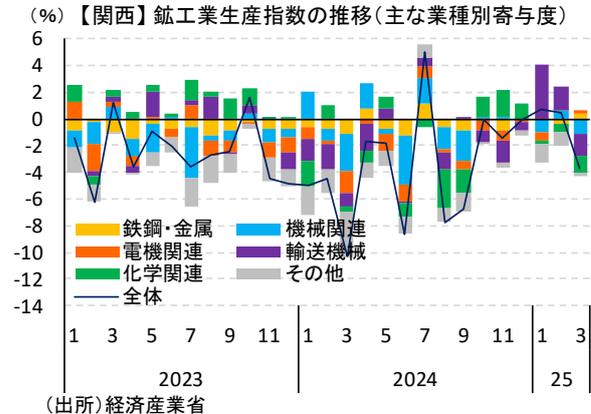
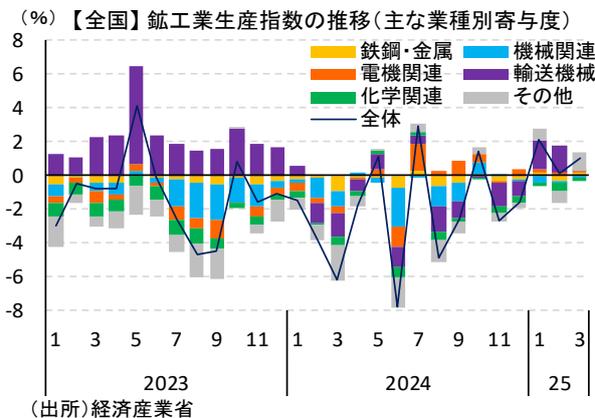


関西の景気トピックス【鉱工業指数（25年3月）】

- 25年3月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の確報データによると、生産（原数値）は前年比で3.7%減と、3か月ぶりの減少となった。業種別には自動車関連の部品不足に伴う生産減や、機械関連の減少などが目立っており、全体を押し下げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月に続いて、需要が企業の予測を下回り、在庫が積み上がってしまう「在庫積み上がり局面」となっており、今後の推移が注目される。
- 直近の関西の生産動向をみる限り、個別要因での一時的な増加を除き、前年を下回る傾向が続いている。電機や機械関連といった関西が強みをもつ分野にも力強さが感じられない。2020年以降の季節調整値の推移をみると、直近の水準はコロナ前を大きく下回っており、直近の25年3月は、20年6月以来の低い水準にとどまっている。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。